

会議名	第46期 一八会 第6回 役員会 議事録		2025年 9月 25日	
			書記	中村
議 題	9月オープン例会、懇親会の感想と反省			
日 時	2025年 9月 24日(水) 19:00~23:00		場所	菅原乳業(株) 会議室
参加者	役 職	氏 名	役 職	氏 名(予定者)
参 加 者	会長予定者	菅原 州平	幹事	表 宏明
	副会長予定者	北浦 宏祐	幹事	岡本 康寛
	会計予定者	堀 良介	幹事	清水 風馬
			幹事	中村 和丸

No	表 題	内 容
1	開会の挨拶	<p>1. 開会の挨拶 46期も折り返し地点となり、慣れによる緩みが出ないよう、気を引き締めて活動していきたいとの挨拶があった。</p> <p>2. 9月オープン例会(講師:清宮氏)の感想と反省 無事に終了し安堵する一方で、運営面で多くの反省点が出た。 準備は十分にしたつもりでも、当日は想定通りに動けずバタバタしてしまった。</p>
2	9月オープン例会 (講師:清宮氏)の 感想と反省	<p>無事に終了し安堵する一方で、運営面で多くの反省点が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>受付・参加者管理の課題:<ul style="list-style-type: none"><li>懇親会に予定外の参加者がおり、参加費の徴収と人数の把握漏れが発生した。</li><li>ゲストの出欠管理が曖昧になり、混乱が生じた。</li><li>開会時刻(18時)を過ぎてからの来場者が複数おり、受付(名簿)の管理が行き届かなかった。役割分担はあったが、ドア係との兼任や、担当者が最後まで自席につけない状況があった。</li><li>案内の段階で「10分前集合」などを呼びかけるべきだった。</li></ul></li><li>会場設営・進行の課題:<ul style="list-style-type: none"><li>会場前方の席が空いていることが目立ち、指定席の案内が不十分だった可能性が指摘された。</li><li>会場に時計がなく、タイムキーパーが機能しづらかった。講師が話している最中に残り時間を明確に提示できる工夫が必要だった。(プラカード等)</li></ul></li><li>講師例会(清宮氏)に関する課題:<ul style="list-style-type: none"><li>講師の清宮氏に対し、事前にビジネスに関するテーマを伝えておけば、より深い話が聞けたのではないかと意見があった。</li><li>一方で、清宮氏は会社としての看板で話すタイプであり、個人的なビジネス論を深く話すのは難しかった可能性も指摘された。</li></ul></li><li>その他:<ul style="list-style-type: none"><li>撮影した動画の画質が高すぎてデータが重く、編集が非常に困難だった。今後、編集を前提とする場合は、撮影時から画質を落とすなどの対策が望ましいとの意見があった。</li><li>今回の反省点をまとめ、次期への引継ぎ資料として残すことが提案された。</li><li>運営の混乱は役員だけでなく、会員一人ひとりが臨機応変に対応できる資質の向上も今後の課題として挙げられた。</li></ul></li></ul>

No	表 題	内 容
3	10 月 例 会 に ついて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ:「遠慮のない組織作り ～組織変革のヒント～」。</li> <li>◦ 元々は「自走する組織」というテーマで「識学」をベースに進める予定だったが、「遠慮」という概念すらない仕組みで徹底する組織を目指すという観点からテーマが設定された。</li> <li>・ 目的: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 会員が自社の組織を見直し、変革するためのヒントを得ること。</li> <li>◦ VUCA 時代において現状維持は衰退であり、変化し進化し続けることが企業の必須条件であるという危機意識を共有する。</li> </ul> </li> <li>・ 進行(案): <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 前半(約 60 分): 座学形式の講義。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 講師自身の会社が抱える組織的課題(昔ながらの教育方針、業務の属人化など)を共有。</li> <li>▪ 属人化が組織の持続性や成長を阻害する要因であることを解説。</li> </ul> </li> <li>◦ 後半: グループディスカッション。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 会員同士のリアルな対話から学びを得ることを重視したい。</li> <li>▪ 「属人化は良いか悪いか」など、議論が深まるテーマ設定も検討された。</li> </ul> </li> <li>◦ まとめ: 参加者が自社や一八会で実践したいことを考える時間を設ける。</li> </ul> </li> <li>・ 議論: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 講義内容について、「ルール」と「仕組み」の定義を明確にし、両者の関係性を整理して説明する必要があるとの指摘があった。</li> <li>◦ ディスカッションを充実させたいという担当者の意向が確認された。</li> </ul> </li> </ul>
4	11 月 視 察 研 修 について	<p>方面: 伊勢方面。(宿泊は松阪)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容: 企業視察なし、滝行を行う。2 日目は伊勢神宮参拝。</li> <li>・ 出発時間: 朝 7 時 30 分出発予定。役員の集合は 7:00 前(詳細は後日)。</li> <li>・ 予算: 100 万円を計上しているが、参加人数が想定より少なかったため、予算内で収まりそうである。</li> <li>・ その他: 役割分担については次回以降に決定する。</li> </ul>
5	12 月 例 会 に ついて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ(案):「生成 AI の活用」。</li> <li>◦ 中小零細企業こそ AI を活用して成長すべき、という趣旨で発表したいとの意向が示された。</li> <li>・ 議論: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 「AI で何ができるのか」という事例や体験を盛り込むべきとの意見が多数出た。</li> <li>◦ 例えば、SNS 投稿文の作成支援、営業のロールプレイング、想定問答集の作成など、具体的で身近な活用事例を実演することが導入のきっかけになるとの指摘があった。</li> <li>◦ セキュリティや禁止事項(個人情報の入力など)の話も重要だが、それがメインになると導入のハードルを上げてしまうため、あくまで補足的に触れるべきとの意見が出た。</li> </ul> </li> </ul>

No	表 題	内 容
6	2 月 例 会 に ついて	<p>テーマ(案):「標準化と専門性による組織作り」。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ランチェスター戦略を引用し、中小企業は「標準化」で守りを固め、「専門性」で一点突破すべきという考え方を軸にしたいとの提案があった。</li> <li>議論: <ul style="list-style-type: none"> <li>発表者が自身の職場で感じている「属人化(職人技の継承)」の課題と、ランチェスター戦略で語られる「専門性」の概念には少しズレがある可能性が指摘された。</li> <li>テーマを無理に理論に結びつけようとせず、自身の課題感(職人技の標準化など)に焦点を当てた方が、より深掘りできるのではないかと助言があった。</li> </ul> </li> </ul>
7	3 月 例 会 に ついて	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者より「家系図分析」をテーマにしたいとの提案があった。先祖や時代背景を分析することで、事業活動の判断材料になり得る可能性があるという内容。</li> <li>これに対し、事業への関連付けが本当にできるのか！？ 個人の状況に左右されすぎるため、本例会よりも分科会向きのテーマではないかとの意見が出された。</li> </ul>
8	分 科 会 、 会 費 を 考 え る 会 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>会費を考える会 <ul style="list-style-type: none"> <li>会の財政状況やお金の使い方(例:旅行への補助金など)について、役員だけでなく会員全体で情報を共有し、状況をすり合わせる場を持ちたいとの説明があった。これは次期会長や役員の負担軽減にも繋がる。</li> </ul> </li> <li>第1回分科会(10月21日・火曜日) <ul style="list-style-type: none"> <li>益田シニアによる労務関連についての分科会になる予定。</li> <li>明日(9/25)に益田シニアと打合せし、内容を決めていく予定。</li> </ul> </li> </ul>
9	次回役員会日程	<p>次回: 10 月 28 日 19:00～</p> <p>場所 : 菅原乳業(株)</p> <p>議事録予定者 : 本田</p>